

科目責任者 小山 清隆 (生薬学教室)

■ 教育目的

将来、創造的な薬学研究者・技術者として幅広く活躍できる人材となるために、自主的な情報収集と討議を通して問題解決を図る習慣とプレゼンテーション能力を育成する。また、現在用いられている医薬品がどのように開発されたのかをテーマの基軸として、医薬品開発の考え方を習得する。

■ 学習到達目標

1. テーマに従った情報収集ができる。
2. 収集した情報をまとめ、資料を作成できる。
3. 資料を使って、プレゼンテーションができる。
4. 質疑応答ができる。
5. 薬の発見について具体例を挙げて説明できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：調査は授業時間だけでは不十分なので、放課後や休日にも行う。

復習：発表時の質疑応答で、答えられなかった分は宿題となる。

■ 授業内容

一班3～4名となるように班分けをし、各班ごとに指定された医薬品から1種類選び、その医薬品に関して調査し、パワーポイントにまとめ発表する。また質疑応答も行う。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	オリエンテーション	発表方法の説明、テーマ発表、グループ分け	A (2) -3-1 A (2) -3-2 A (2) -3-3 B (1) -3-2 B (1) -6-2 C17 (2) -1-1 C17 (2) -2-1
2～4	調査及び発表原稿づくり	パワーポイントを使っての発表の調査とまとめ	//
5	スライドチェック	発表とスライドのチェック（班ごとに教員と）	//
6～7	発表	パワーポイントを使っての発表と質疑応答 教員による総括	//
8	フィードバック	発表に対するフィードバック	//
9～12	調査及び発表原稿づくり	パワーポイントを使っての発表の調査とまとめ	//
13～14	発表	パワーポイントを使っての発表と質疑応答 教員による総括	//

■ 授業分担者

小山 清隆、杉田 隆、杉山 重夫、花田 和彦、石田 洋一、林 賢、横屋 正志、

■ 成績評価方法

出席・調査態度（30%）、発表、質問への返答、宿題（60%）、質問をする（10%）。